



11月23日 北御牧地区一周駅伝大会が開かれました

御牧の郷だより

MIMAKI NO SATO DAYORI

No. 44

北御牧地区一周駅伝大会
好天の中選手の皆さんの力強い走りに
沿道からの声援が飛びました。



「優しさが誰かを救う」 北御牧中生が長野県英語弁論大会で優勝



北御牧中学校3年生の山本マリアさんが、県の英語弁論大会で優勝しました。この大会は県英語教育研究会が主催する大会で今年で42回目を迎えます。

ブラジル出身で、両親の仕事の都合で来日した山本さん。以前通っていた小学校では、日本語が不慣れなことや算数が苦手だったことを笑われ、つらい思いをしました。しかし、北御牧中学校に転校してからは、クラスメートに温かく迎えられ、転校初日は「日本に来て一番楽しい日だった」と振り返ります。

苦しかった体験を伝え、誰かの支えになりたいという思いから、山本さんは「当たり前のことが人生を変える」というテーマで弁論に挑戦。76人が参加した大会で優勝を果たし、11月には東京で開催された高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会予選に長野県代表として出場しました。山本さんは弁論の最後で「優しさは必ず大切な誰かを救います」というメッセージを伝えました。

“Normal to some, life changing to others”

「当たり前のことが、他人の人生を変えることもある」

山本マリアさんスピーチ 和訳

今日は、「本当の優しさ」の意味を私がどのようにして学んだかについて話します。初めて日本の学校に登校した日、私は映画と同じような感じになるだろうと期待していました。クラスメートがわたしを歓迎し、日本語を手伝ってくれると思っていたのです。でも、現実はそうではありませんでした。彼らの毎回のいじりはわたしの気分を最悪なものにしたのです。

忘れられないエピソードは、グループプレゼンテーションを行った日です。(参観日)算数の問題を解いている様子を親たちに見てもらおうというプレゼンテーションでした。私は数学が苦手なので解くのに時間がかり、笑われました。毎日嫌な気持ちになるだけでなく、みんなの前でも笑いものにされたのです。私の親は仕事の関係でその日は参観に来なかったけれど、いて欲しかった。私は無力を感じました。それを見ていた先生が何もしなかったことも、今でも私を複雑な気持ちにさせます。その日のせいで、私は以前よりもっと孤独になりました。この出来事はその日以来大きなトラウマになってしまいました。

しかし幸運にも私はその日から3年後に転校することができたのです。転校前のつらい3年間は同い年の友達と会話することは一回もありませんでした。もちろん、私のコミュニケーション力はとても低くなり、私は悪い意味で全く別の人間になってしまいました。

転校して初めての登校した日、あの日はもう、日本に来てからの一番楽しい一日でした。思った以上にみんなが色々な質問をしてきて、久しぶりに私をみんなの仲間入りをさせてくれたのです。

前の学校で起きたことのせいで、最初はうまく関わることができなくて、すごく申し訳ない気持ちでしたが、北御牧の友達はずぐに優しく信用できる人たちであることに気づき、気軽に話すことができるようになりました。前の学校では絶対にあり得ないことでした。

副衛生委員長になることもできました。5年前の自分に「あなたは将来、いい学校に通って、友達をいっぱい作って、役員になって、英語の弁論大会に挑戦するよ」と言われたら、絶対に信じ得ないことです。私は自分自身の成長をとて誇りに思っています。でも、これは全て友達のおかげです。彼らは私が私らしくあり、本当の強さを表すことを、応援し励ましてくれた人たちだからです。

かくま(文化)祭の時の話。1年生の集合写真の時に、クラスのある女の子が私の腕を握ってきました。これは普通ですごくシンプルなことです。でも、あの時、彼女の行動は私の心をとて温かくしたのです。あの日の嬉しさは一生忘れません。もちろん、辛い日もありますが、私は友達のおかげで毎日幸せです。もちろん優しさだけで世の中の全ての問題を解決することができないと思いますが、私の友達が私を救ったように、優しさが大切な誰かを救うことは必ずできると信じています。親切であること、なりたい自分になることは決して遅すぎることはない。今からでも全然手遅れじゃない、そう思います。わたしの経験をあなたと共有できて幸せです。最後まで聞いてくれてありがとうございます。

※紙面の都合上掲載できませんでしたが、スピーチ英文を読みたいという方は協議会までご連絡ください。



天空の芸術祭 2024 無事終了しました

10月19日から11月9日までの土日祭日北御牧地区で開催しておりました天空の芸術祭 2024 は皆様のご協力をいただき無事閉幕することが出来ました。

同時開催した小中学校の児童・生徒さんの作品も小学生・中学1・2年生全員の参加をいただき大好評でした。会場は、北御牧公民館をはじめ10カ所で展示され、参加作家も東京藝大の先生や生徒など17名の参加を得て滞在制作や展示がされました。

また中学校とゆうゆうアリーナでは、それぞれ楽しいワークショップも開催されました。来場者の感想の一部を紹介させていただきます。

- ・各作品ともすばらしく、数も多くびっくりしました。ありがとうございました。
- ・壮大なスケールで自由な、大きな世界を見せていただきました。
- ・日頃は子供たちと接することもない生活ですが、今を生きる子供たちのありようを理解することが出来ました。皆様の協力があって見る私にはとても楽しい時間でした。

第18回北御牧地区生涯学習作品展



第18回北御牧地区生涯学習作品展が10月26日（土）27日（日）の二日間にわたり、北御牧庁舎2階で開催されました。今回は、「天空の芸術祭」の小中学生作品展（同庁舎1階）と同時開催のため、小中学生やそのご家族など多数の方に観覧いただきました。

出展団体が14団体（R5：8団体）、作品総数が455点（R5：342点）と前年に比べて大幅に増加し、来館された皆さんの目と心を癒してくれました。

第4回公募絵画展 北御牧を描く



前列：受賞者、後列：運営スタッフ（サロン運営委員等）

第4回公募絵画展「北御牧を描く」が、11月3日から12月1日まで北御牧市民交流サロンで開催されました。観覧者による投票の結果、北御牧賞は櫻井義邦さん（長和町）の「静寂」に決まりました。詳細については、別途報告書が作成され全戸配布されます。



北御牧賞：櫻井さん

編集後記

昨年も多くの方々に支えられ広報誌「御牧の郷だより」を発行することができました。誌面を通して少しでもお楽しみいただき、刺激となるような情報をお届けできたのであれば編集部一同、これ以上の喜びはありません。

本年が皆様にとって良い年になることを心より願っております。

編集部 関 和貴

北御牧の人の動き

総人口	4,439人（±0人）	転入	12人	出生	2人
男	2,199人（+1人）	転出	10人	死亡	6人
女	2,240人（-1人）				

（）内は、10月末との対比（令和6年11月末現在）